

A Lecture on Architecture

オハッド・フィショフ

Whenever
Wherever
Festival 2012

7.28 sat 19:30 (19:00開場)

¥2,500 (with 1Drink)

アフタートーク「ミクストメディアとしての映像」

ゲスト：東 芋 (美術家) | 司会：飯名尚人 (Dance and Media Japan)

バットシェバ舞踊団の音楽担当、そして

美術家とのコラボレーションなどクロスオーバーな活動を展開する

オハッド・フィショフの「建築について」の最新パフォーマンスを上演

音楽と建築とSFのポエティックな交差点が現出するライブ・イベント

長年バットシェバ舞踊団(イスラエル)の音楽担当として世界的振付家オハッド・ナハリンの芸術哲学の一端を担い、また美術家たちと世界各地の国際展のオープニングイベントを飾るなど、クロスオーバーな活動を展開するオハッド・フィショフ。

彼の最新パフォーマンスは、その名も「建築について」。イスラエル建築アーカイブとのコラボレーションにより、60年代から70年代のユニークな建築写真をコラージュ。テキスト、映像、テクノロジーを駆使して、音楽と建築とSFのポエティックな交差点を現出させるライブ・イベントは、自然の記憶やイメージーションが交錯するオーディオビジュアルな冥想の境地といえるでしょう。

オハッド・フィショフ | Ohad Fishof

音楽、ダンス、映像、パフォーマンス、インスタレーションなど多岐のジャンルにわたり活動しているアーティスト。イスラエルの先駆的アート・ポップ・バンド、Nosei Hamigbaatのミュージシャンとして活動を始め、その後、ダンス、パフォーマンス、アートインスタレーションへの楽曲提供をしながら活動の幅を音楽以外のジャンルへも広げ、1997年には、ロンドンのラバンセンターでダンスの修士号を取得。その後ロンドンで創作活動を続け、2001年にはUri Katzensteinとの共同作品をヴェニス・ビエンナーレで発表。ここ10年では、即興ライブ、サイトスペシフィック・パフォーマンス、ビデオアニメーション、ダンス、サウンドトラック作品など、身体をベースとしたユニークな作品を展開している。

バットシェバ舞踊団とその芸術監督であるオハッド・ナハリンの長期にわたるコラボレーターであり、《Three》《MAX》《Seder》《Furo》《Telophaza》の作曲をてがけ、《Telophaza》および、音楽監督も務めた《Playback》ではドラマチックとして参加。また、Gaga、ナハリン独自の動きを教える教師として、日本、アメリカ、スイス、ドイツ、イスラエルでワークショップを行う。現在、テレビを拠点とし、Hamidrahsa 芸術大学、ベツァルエル美術デザイン学院で教える。

<http://www.ohadfishof.com>

ゲスト

東 芋 | Tabaimo

1975年兵庫県生まれ。映像インスタレーション作家。2011年ヴェネチア・ビエンナーレ日本館代表作家へ選出され、新作《てくれスープ》を日本館で発表。長野県在住。



《Furo》

アニメーション：東 芋

美術・音楽：

オハッド・フィショフ

振付：オハッド・ナハリン



申込方法 | 以下のいずれかよりお申込みください。

BAL WWFes事務局

- E-mail | bodyartslab@gmail.com

(予約専用アドレス)

- 予約フォーム

<http://bodyartslabo.com/>

wwfes2012/education/ticket

アップリンク

- E-mail | factory@uplink.co.jp

件名を「予約/7月28日オハッド・フィショフ」として 1.お名前 2.人数(一度のご予約で3名様まで) 3.電話番号を明記ください。

会場 | アップリンク・ファクトリー

東京都渋谷区宇田川町37-18 ツツネビル1F

- JR・東急・東京メトロ・京王井の頭線「渋谷駅」

より徒歩6分

Tel | 03-6825-5502

<http://www.uplink.co.jp>

UPLINK FACTORY



日本・イスラエル六十周年
2012.7.28 60 Years Japan-Israel

主催 | イスラエル大使館 / Body Arts Laboratory
協力 | UPLINK